

龍谷大学 学修支援・教育開発センター通信

Ryukoku University Learning Support・ Educational Development Center Report

2015

02



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

学修支援・教育開発センター | 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
Tel 075-645-2163 Fax 075-645-2190 <http://www.ryukoku.ac.jp/faculty/fd/index.html>
発行日: 2016年3月 編集・発行: 龍谷大学 学修支援・教育開発センター

2015年度、2回に渡って開催された学生FDサロンの様子です。今年度役員のみなさん、お疲れ様でした！
2016年度からは農学部の大議員を迎えた十学部合同学生会の活躍が期待されます。



2015, Number 02

CONTENTS

p3

九学部合同学生会主催 第2回学生FDサロン 「真剣龍大しゃべり場 ～授業中の私語、気になりませんか?～」開催報告

p4

深草コモンズライティング支援

コモンズチューター活動報告

p6

2015年度学修支援・教育開発センター事業内容

p8

2015年度自己応募研究プロジェクトポスター展示について
新着図書紹介

九学部合同学生会主催 第2回学生FDサロン

「真剣龍大しゃべり場 ～授業中の私語、気になりませんか?～」

開催報告

九学部合同学生会は学生の正課環境の改善・向上を目的に、様々な活動を行っています。その活動の一つとして、学生・教員・職員の三者がそれぞれの立場から龍谷大学の正課環境について意見を出し合い、考えを共有する場として、学生FDサロンを開催しています。

今年度2回目の開催となる学生FDサロンでは、「授業中の私語についてどう考えるか」をテーマに置きました。このテーマ設定について、九学部合同学生会代表の久保さんからは「中央執行委員会では、セメスター始まり毎にポータルサイトを通してアンケートを実施しています。その中で『授業中の私語がうるさいからどうかしてほしい』と意見が上がっています。先生や職員から見ると『学生』とひとくくりにされてしまいがちですが、学生も授業中の私語について悩んでいることを、先生・職員のみなさんとも共有したかったので、テーマにしました。」とお答えいただきました。

2016年度からは農学部を学生を迎え、十学部合同学生会となる彼らの取組に今後も期待しています。

学生FDサロンに参加した学生からの感想

経済学部3年生 桑原 佳那さん

今回、私は初めて学生FDサロンに参加しました。最初は正直学生と教職員が大学の正課について話すということのイメージができなかったので、学生FDサロンに対して堅苦しいイメージがありました。しかし、実際始まってみると他の学生はもちろん、教職員の方々も気さくに話しかけてくださり耳を傾けてくださったので、私も考えていることを積極的に伝えることができました。また、他の学生や教職員の方の目線を知ることができたことは自分にとって良い刺激になりました。話し合う内容が「授業中の私語について」という友達同士でもあまり普段では話さないことだったので、こういった内容のことを真剣に話せる環境があることは素晴らしいことだなと思います。今回の学生FDサロンを通して、正課に対する捉え方の違いを実感しました。よりよい正課環境を作るためには、学生と教職員双方の意見を共有し合う機会が必要です。今後もっと多くの学生に参加していただいくことで、それぞれのこれからの学生生活に活かしてもらいたいです。



深草コモンズライティング支援活動

深草コモンズにおいて2015年4月より開始したコモンズチューター(大学院生)によるライティング支援は、2016年1月をもって今年度の活動を終わりました。2015年度の利用者総計は374人(※延べ人数)となりました。

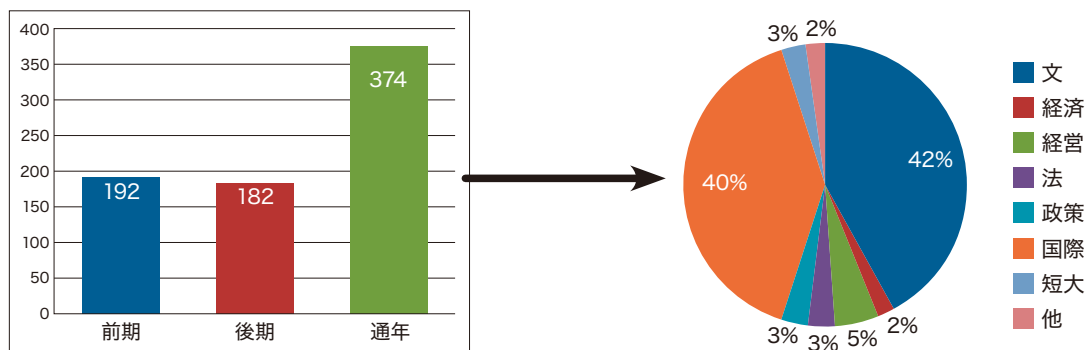
前期は1回生の利用が最も多く、相談内容もレポートに関する相談が72%となっていますが、後期に入ると3、4回生の利用も増え、レポートに関する相談(46%)に次いで卒業論文に関する相談(36%)が多くなりました。立ち上げ当初、年間を通して1、2回生の利用が多いことを見込んでいましたが、後期に入ると3、4回生からの論文に関する相談も多く寄せられ、上回生もライティング支援を必要としていることがわかりました。

なお、チュータリングスキルの向上や、リピーターに対する円滑なライティング支援を可能とするため、以前相談にきた学生がどのようなところで躓き、相談に来ていたのか、チューター間で把握できるようサポートシートを作成しています。前期はその内容を主に紙ベースで作成し、定期的にチューター間で共有していましたが、後期からは相談者への支援状況を即時的に把握できるよう、manaba courseを活用する等、工夫を凝らしながらライティング支援を行いました。

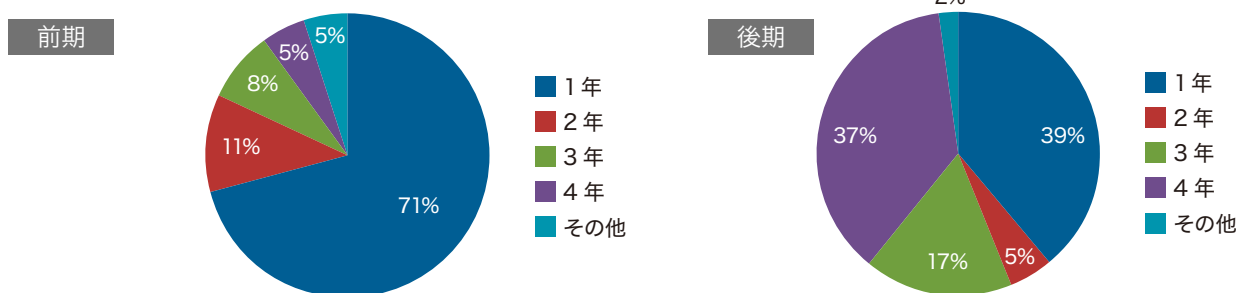
来年度は更に多くの学生に認知・利用してもらえるよう、学生・教職員への広報や教員との連携を強化するとともに、コモンズチューターによるミニ講座等の企画も検討しています。また、今年度の取組実績をもとに、コモンズチューターのスキルアップも引き続き行い、支援方法・内容の改善・充実を図ります。

コモンズ	開室日	共通支援	機能別支援
SC	週5日	ライティング支援 ※ GC は英語・中国語 対応可能	プレゼンテーション支援 他
GC	週2日		語学学修支援 他
KC	週3日		図書館利用支援 他

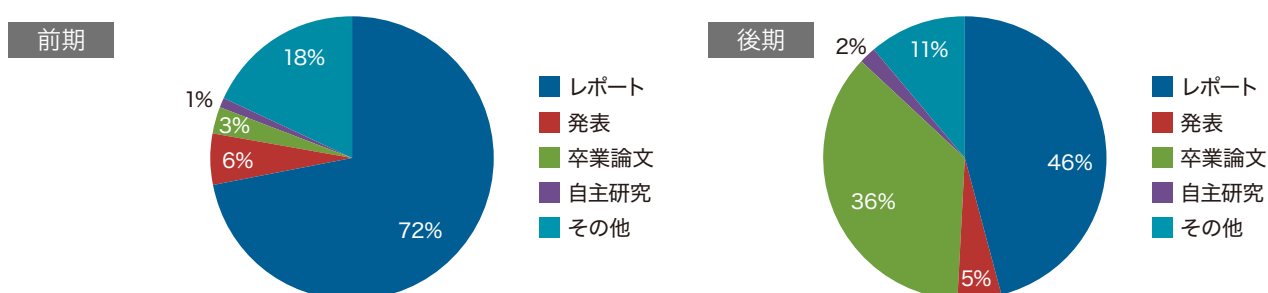
■利用者数(延べ人数)及び学部別利用者一覧



■利用者学年別内訳



■相談内容



コモンズチューター活動報告

コモンズチューター ミーティング内容(後期)

学部生の相談内容に応じ、適切な学修支援(ライティング支援等)を行うことができるよう、定期的に研修やミーティングを実施しています。後期は以下のとおり、ライティング支援に関する研修やコモンズチューターミーティングを行いました。

■ 2015年度コモンズチューター 研修・ミーティング実施一覧(後期)

日 程	内 容
9月15日(火)	①ライティング支援(コモンズチューター)利用者数について ②レポートの書き方チェックシートの改善について ・7/31(金)のミーティングで出された意見を踏まえ検討 ③レジュメ・スライドに関する相談への対応について ④後期に向けた課題とその解決に向けての方策について
11月16日(月)	①ライティング支援(コモンズチューター)利用者数について ②構想段階の相談への対応方法について ・これまでの相談事例における問題点の共有 ・対応方法の共有 ・ロールプレイによる実践と検討 ・今後の課題の共有
12月21日(月)	①ライティング支援(コモンズチューター)利用者数について ②発表資料に関する相談対応について ③発表資料作成のためのチェックシートの作成について→1月中旬から活用

コモンズチューター業務を振り返って

コモンズチューター 1期生として、16名の大学院生にチューターを努めていただきました。今後、大学院修了等により、2015年度をもって任を終えることとなるチューターのうち、1名の方にコモンズチューター業務の感想をいただきました。学部生が抱えるライティングへの疑問や悩みに真摯に向き合い、対応にあたってくださいました。

2015年度でコモンズチューターを終えるみなさん、運営に協力いただき、本当にありがとうございました。コモンズチューターでの経験を活かし、今後一層の活躍を期待しています！



コモンズチューター 1期生
法学研究科 上坂 真名美さん

コモンズチューターの活動は、単に自分のもつ知識を相手に説明するのではなく、相談にくる学生自身を主人公として、彼ら自身が自らの力で次のステップに進めるように支援しなくてはならないという点で、私にとって未知の経験でした。

学生自身がもつ考えを引き出して、それをレポートにまで発展させるというのは、チューターがしゃべるばかりでは、うまくいきません。チュータリングを初めたころは、学生の質問・疑問に対し、すぐさま自分の考えを提示するという方法しか取れませんでした。しかし、他のチューターと情報交換をするなかで、そのやり方では学生自身が主人公のチュータリングにはならないと気づき、聞き取りをチュータリングの中心に据えることで「相談者がもつ考え・可能性を引き出すようなやり方」を身につけることができました。また、相談者が言葉に詰まることがあっても、すぐに答えを提示せず、学生が考える時間(沈黙の時間)をできる限り設けることも大切だと思い、実践しました。このような経験から、相手の意見を肯定的に受け取り、アイデアを付け加えていくような対話方法を身につけられたように思います。

また、この活動を通して、他の研究科の院生と交流をもつことができたのは、とても有意義でした。他の研究科の院生との会話によって視野も広がりましたし、つながりをつくることができました。

コモンズチューターの活動をたった1年で去るのは残念に感じますが、残るメンバーや新しいメンバーは、コモンズチューターという制度をより多くの学生から頼りにされる活動に発展させてくれるものと信じています。

2015年度 学修支援・教育開発センター事業内容

1. 教育開発・研究

<指定研究プロジェクト事業>

テーマ	代表者
学修支援環境の構築	長谷川 岳史 (経営学部)
Web を活用した学修・教育支援ツールの研究	長谷川 岳史 (経営学部)

自己応募研究プロジェクトポスター
展示期間：2016年3月28日(月)～
4月15日(金)

<自己応募研究プロジェクト>

テーマ	代表者
保育者（保育士・幼稚園教諭）養成における保育実技指導の検討 ―授業間連携による学修成果発表会を通して―	生駒 幸子 (短期大学部)
計算機演習における学習進捗度の取得	植村 渉 (理工学部)
数学学習・教育用ソフトウェア「GeoGebra」を用いた教材開発とテキスト作成	大西 俊弘 (理工学部)
課題解決型学習に基づく地域協働学習の開発 ―コミュニティ・リーダーの育成に向けて―	笠井 賢紀 (社会学部)
Audience Response System を活用した主体的学習授業の実践とその評価：実験・行動経済学を用いた検証	神谷 祐介 (経済学部)
言語教育における評価指標の開発 ―「JEP Kyoto」の開発とその検証を通して―	小松 知子 (経営学部)
講義・演習における学生の主体的学修促進のための仕組みへのエビデンスベースド・アプローチ	寺島 和夫 (経営学部)
ICT 支援による効果的な教育システムに関する基礎的研究	西岡 久充 (経営学部)
講義中の私語抑制ストラテジー調査	吉川 悟 (文学部)

2. 教育改善活動支援

<学生による学期初めの授業アンケート>

対象科目：2015 年度第 1 学期・第 2 学期全開講科目

学期	実施期間	利用枚数
1 学期	2015 年 4 月 9 日～4 月 22 日	10,285 枚
2 学期	2015 年 9 月 18 日～10 月 7 日	8,846 枚

<学生による学期半ばの授業アンケート>

対象科目：2015 年度第 1 学期・第 2 学期全開講科目

学期	実施期間	利用枚数
1 学期	2015 年 5 月 22 日～6 月 4 日	13,086 枚
2 学期	2015 年 11 月 5 日～11 月 18 日	8,140 枚

<学生による学期末の授業アンケート>

対象科目：2015年度第1学期・第2学期開講の外
国語科目及び講義科目

※理工学部は上記科目に加え、演習、講読、実験・実習、実技・実習、大学院科目及び大学院との合併科目についても実施した。また、農学部は全科目において実施した。

学期	実施期間	対象科目数	実施科目数	実施率
1 学期	学 部：7 月 10 日～29 日 短期大学部：7 月 9 日～20 日	2,680 科目	1,993 科目	74.4%
2 学期	学 部：2016 年 1 月 7 日～21 日 短期大学部：2016 年 1 月 7 日～20 日	2,434 科目	1,593 科目	65.4%

2015年度は文学部、国際(国際文化)学部、政策学部、農学部、文学研究科、実践真宗学研究科において、「学生による学期末の授業アンケート」をWebアンケートで実施。

3. 教育活動交流・研修

<各種研修の実施>

開催日	研修名	主催/講師
4 月 1 日、2 日	2015 年度新任者就任時研修	長谷川 岳史 (学修支援・教育開発センター長)、 西村 豊 (REC 事務部長)、藤原 直仁 (副学長)、 脇田 健一 (研究部長)
6 月 20 日	平成 27 年度 FD 推進ワークショップ「高等教育におけるユニバーサルデザイン ～今、私立大学への教育支援に求められる『合理的配慮』とは?～」(専任教職員向け)	私立大学連盟
8 月 4～5 日、 6～7 日	平成 27 年度 FD 推進ワークショップ「大学教員の職能開発と FD」 (新任専任教職員向け)	

<FDサロン>

開催日	テーマ	主催/講師
7 月 8 日	「講義中の私語抑制ストラテジー調査」の研究紹介	吉川 悟 (文学部)
7 月 16 日	第 1 回真剣龍大しゃべり場 ～あなたは勉強してますか?～	九学部合同学生会
7 月 30 日	日本私立大学連盟主催 「平成 27 年度 FD 推進ワークショップ (専任教職員向け)」参加報告会	山川 正司 (障がい学生支援室 課長)、 栗田 雅文 (管理課 課員)
11 月 26 日	第 2 回真剣龍大しゃべり場 ～授業中の私語、気になりますか?～	九学部合同学生会
12 月 10 日	卒業後にもつなげるライティング支援～瀬田学舎におけるライティングセンターの取り組み～ (※新任教員フォローアップ研修を兼ねる)	島村 健司 (本学ライティングセンター スーパーバイザー)

<FDフォーラム>

開催日	テーマ	内 容
10月7日	ラーニングコモンズを学びの空間として育てていくために	報告「龍谷大学ラーニングコモンズ」の構想 横田 岳人(龍谷大学瀬田教学部長) 長谷川 岳史(学修支援・教育開発センター長) 松居 竜五(グローバル教育推進センター長) 安藤 徹(図書館長) 九学部合同学生会(コモンズサポーター)

<FD報告会>

各学部が活発な取り組みを行い、全学でその内容を共有しました。

開催日	学部／研究科	テーマ
4月2日	法学部	「基礎演習Ⅰ」担当者説明会
4月22日	法科大学院	2015(平成27)年度 第1回FD全体会
4月22日	経済学部 経済学研究科	経済学部 入学準備サポートプログラム 実施結果について
5月13日	国際文化学研究科	第1回ランチタイムセミナー 大学院FD研究会
5月27日	国際文化学研究科	大学院FD研究会
6月3日	経済学部 経済学研究科	2015年度研究倫理について
	社会学部	瀬田学舎におけるラーニングコモンズの活用方策に向けて
6月10日	法科大学院 国際文化学研究科	2015(平成27)年度 第2回FD全体会 第2回ランチタイムセミナー
6月24日	政策学部 教養教育センター 国際文化学研究科	〈新しい能力〉の形成と評価 ―地域公共人材の育成のために― 学生は何を求めているのか ―深草における龍谷大学ラーニングコモンズの取組から見えるもの― 第3回ランチタイムセミナー
7月1日	文学部 経済学部 経済学研究科 法学部	APの観点からみた初年次教育と社会人基礎の育成 ―文学部のCPの再検討を見据えて― 2015年度 経済学部における進路実績報告 「法学部進路実績について」報告会
7月8日	法科大学院	2015(平成27)年度 第3回FD全体会
7月22日	法学部	「基礎演習Ⅱ」担当者説明会
7月29日	農学部 国際文化学研究科	農学部設立の経緯について 第4回ランチタイムセミナー
9月9日	政策学部	manabaの利用について
9月16日	農学部	農学部第2回FD講演会
10月7日	農学部	農学部第3回FD講演会
10月14日	法学部	基礎演習と法学・政治学入門演習について
10月22日	教養教育センター	セメスター制と週2回実施授業(ペア科目)について
10月23日	経営学部	2015年度第1回経営学部FD報告会
10月28日	法学部 政策学部	大学生基礎力レポート結果報告会 学部共通コースの現状と課題について
10月30日	経営学研究科	2015年度第1回経営学研究科FD報告会
11月4日	国際文化学研究科 短期大学部 法科大学院	2015年度国際文化学研究科シンポジウム「冷戦の記憶 ―オフィシャルな記憶の表象と対抗的記憶」 大学における初年次教育の課題とその効果的な実施方法等について 2015(平成27)年度 第4回FD全体会
11月18日	政策学研究科 法科大学院	学部生の大学院進学へ向けたキャリアパスモデルの形成について 2015(平成27)年度 第5回FD全体会
11月25日	短期大学部 文学研究科	保育実習における知的障害児・者福祉施設の事前・事後指導について ―保育士志望学生への的確な実習指導教育の構築に向けて― 大学院生のライティング能力の養成 ―大学院共通科目「アカデミック・ライティング」の実践報告―
12月2日	文学研究科 短期大学部	人文系大学院生に対するキャリア支援の現状と課題 短期大学部各学科におけるFD活動と今後の展望
12月9日	実践真宗学研究科	臨床実習教育の可能性を探る ―実践真宗学研究科の実習を充実するために―
12月16日	文学部 理工学部・ 理工学研究科	文学部CPの再検討 ―教養科目と専門科目の 一層の連携を目指して PDCAサイクルに沿ったJABEE認定 manaba courseの活用方法
1月13日	社会学研究科	アカデミックハラスメントについて
1月20日	法学部 国際学部	スポーツ科学系科目(教養教育)の全国的な動向と本学の現状について 国際文化学部 卒業論文合同発表会
2月3日	経営学部	合同型演習における合同報告会Ⅱ
2月17日	法科大学院	2015(平成27)年度 第6回FD全体会
3月2日	経済学部 社会学部	授業支援システム(manaba)の活用事例 ―高大連携教育プログラム― 【第1部】現代福祉学科のカリキュラムコンセプトについて 【第2部】学習目標の可視化に向けて ―カリキュラムマップ作成ワークショップ参加報告―

<公開授業と講評会>

文学部:2件、経済学部:1件、経営学部:3件、理工学部:1件、社会学部:1件、短期大学部1件

4.学修支援

コモンズチューター利用者数(延べ人数):374名

2015年度自己応募研究プロジェクトポスター展示について

開催期間：2016年3月28日(月)～4月15日(金)

場 所：深草学舎 和顔館1階(西) スチューデントコモンズ内ギャラリー
瀬田学舎 1号館1階エントランス

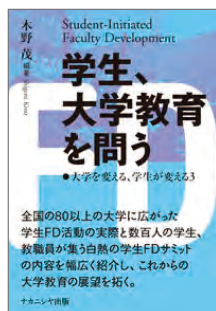
コメントについて：ご覧頂いた教職員、学生の方はコメントをお寄せください。「コメントシート貼付ボード」を設置しコメントを共有しています。

学修支援・教育開発センターでは、1998年度より、教育方法や教材等に関する研究を支援する「自己応募研究プロジェクト」を実施しています。

2015年度に実施した9件のプロジェクトの研究成果を共有するために、深草学舎及び瀬田学舎においてポスター展示を実施します。

新 着 図 書 紹 介

学生、大学教育を問う



全国の80以上の大学に広がった学生FD活動の実態と数百人の学生、教職員が集う白熱の学生FDサミットの内容を幅広く紹介し、これからの大学教育の展望を拓く。

出版年月：2015年9月
編者：木野 茂
発行所：ナカニシヤ出版
価格：2800円
ページ数：248ページ
大きさ：B6
ISBN：9784779508844

学修支援と高等教育の 質保証 I



学生の学力と学修支援に関する比較研究。国内を中心とする学修支援の状況を検討する。アクティブラーニング論、高校時代からのトランジションなどバックグラウンドを踏まえた学修支援論・学力論、短期大学の保育者養成の視点からの学修支援の検討、高等教育機関の留学生への学修支援、ポートフォリオの機能、スウェーデン、中国の高等教育の評価と質保証についての検討などの論考を掲載。

出版年月：2015年10月
編著者：山内 乾史
発行所：学文社
価格：2268円
ページ数：198ページ
大きさ：B6
ISBN：9784762025693

大学の質保証とは何か



大学とは何か、大学の質の良さの決め手は何か、大学の質保証はいかなる方法で行われているのか、といった大学制度の抱える現下の諸課題を、各分野の第一人者が丁寧にわかりやすく解説。

出版年月：2015年5月
編著者：早田 幸政
出版社：エイデル研究所
価格：3240円
ページ数：227ページ
大きさ：A5
ISBN：9784871685610

学生の学びを測る



学びのアセスメントの計画策定から、結果の分析・活用法まで、アセスメントを大学文化として根付かせる方法を詳しく解説する。

出版年月：2015年9月
著者：リンダ・サスキー
訳者：齋藤 聖子
出版社：玉川大学出版部
価格：5400円
ページ数：312ページ
大きさ：B5
ISBN：9784472404917

図書貸し出しのご案内

学修支援・教育開発センターでは、高等教育やFDに関する図書を購入し、教職員への貸し出しを行っています。是非ご利用ください。また、購入図書のリクエストも受け付けております。

なお、専任教職員につきましては、学内便での貸し出しも可能です。1. お名前、2. ご所属、3. 教員／職員の別、4. 貸出希望の書名、5. 著者名を明記の上、dche@ad.ryukoku.ac.jp までお申込ください。